

2013年10月17日 17:00~19:00 参議院議員会館 B109会議室 (入館証を16:50頃より配布します)

2013年9月にJR東海は環境アセス準備書を発表しました。これは環境影響について評価する段階に過ぎませんが、今にも実現するかのようなお祭りムードです。しかし建設の意義・事業の見通しや債務・エネルギー・電磁波・事故時の乗客脱出・建設残土・景観破壊・利便性など、多くの問題を積み残したままです。リニアは市民に何をもたらすのでしょうか。

報告 上岡直見 環境経済研究所「リニアに関する問題点の数々」 懸樋哲夫 リニア・市民ネット事務局長「電磁波の影響について」 各地の団体からアピール

主催: 公共事業改革市民会議・リニア新幹線沿線住民ネットワーク

連絡先: 懸樋哲夫 042-565-7478, FAX 042-564-8664 公共事業改革市民会議 http://stop-kyoujinka.jp/